



Title	平成11年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 2001, 28, p. 33-34
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23816
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成11度事業報告

(財) 大阪癌研究会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から50名の応募者があつた。

一般学術研究助成選考委員会（委員長 濱岡利之 大阪大学医学部教授他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

2. 癌シンポジウム・講演会助成について

癌の予防、診断及び治療に関する研究の連絡、提携の促進を図り癌の医療の進歩普及に貢献するために、助成申請のあったものを理事会で慎重に協議、審査の結果下記の9件に助成した。

2. がんの知識普及活動について

本財団の会誌「癌と人」の会誌26号を刊行し広く配布した。また、癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成11年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏名	所属機関	研究テーマ
杉野 賢二	九州大学医学部附属病院 第二外科	肺癌における細胞周期制御機構の解明とそれに基づく治療法の開発
西村 仁志	名古屋大学医学部附属病態制御研究施設	NK1.1陽性γ3型T細胞の抗腫瘍免疫における役割
高橋 淳	京都大学大学院医学研究科臨床器管病態学	アポトーシス細胞死の実行因子カスパーゼおよび制御因子Bcl-2ファミリーの白血病病態への関与
西口 聖治	大阪大学微生物病研究所	ポリコーム遺伝子群rae28と小児リンパ性白血病
堀尾 嘉幸	札幌医科大学医学部薬理学	細胞癌化とイオン-kir4, 1dig, APCの細胞生物学的研究
高倉 正博	金沢大学医学部附属病院 産科婦人科	テロメラーゼ活性化の分子機構の解明および癌の遺伝子治療への応用
松本 邦夫	大阪大学大学院医学系研究科バイオメディカル教育研究センター	腫瘍血管新生ならびに浸潤・転移阻止能をもつHGFアンタゴニスト(NK4)による癌治療研究

氏名	所属機関	研究テーマ
元村和由	大阪府立成人病センター 第三外科	乳癌におけるSentinel Node Biopsyを用いた腋窩リンパ節非郭清による治療法に関する研究
松下祥	熊本大学医学研究科	ペプチドスーパーアゴニスト同定法の開発とがん免疫療法への応用
長田元伸	東京医科歯科大学疾患遺伝子実験センター	P53癌抑制遺伝子類似遺伝子P51の発現誘導による癌治療の基礎的研究
今井章介	高知医科大学微生物学講座	EBウイルス陽性腫瘍に対する特異的遺伝子治療の基礎的研究
原島秀吉	北海道大学医学大学院 薬学研究科	細胞内動制御における選択的癌増殖抑制システムの分子設計

平成11年度「癌シンポジウム・講演会助成費」助成対象会議

シンポジウム・講演会名	申請者	助成金額	備考
第7回日仏癌会議	田口鐵男・Armand	千円 11,305	
第37回日本癌治療学会総会	佐治重豊・田口鐵男	44,112	
癌に関する印刷物の刊行助成	小西敏郎・田口鐵男	1,900	
白血病など血液疾患治療研究会	正岡徹・田口鐵男	11,875	
第21回癌免疫外科研究会	谷村弘・田口鐵男	3,867	
下部消化管癌術後短腸症候群研究会	坂本純一・田口鐵男	950	
潰瘍性大腸炎の癌化危険因子の検討会	鈴木亮一・田口鐵男	950	
小児白血病研究会	上田一博・田口鐵男	2,850	
肝切除後免疫療法研究会	稻垣均・田口鐵男	1,425	
合計		79,234	